

## 雪害対策のチェックリスト

### 野菜露地

#### 【事前対策】

内容	チェック欄	備考
融雪水が停滞せず迅速に排除できるよう排水溝の点検、整備、清掃を行う。		湿害対策
雪害が発生しやすい地域では、融雪水による湿害を防ぐため、高畦とする。		湿害対策
マメ類など立体性の作物は支柱を強化しておく。		
稲わらで被覆し、放射冷却による葉温の低下を防ぐ。 ただし、多くの積雪量が予想される場合は、被覆資材をはずしておく。		雪の重みによる作物の損傷を防止する。回復作業をしやすくする。
多くの積雪が予想される場合は、防風ネットをはずしておく。		雪の重みによる防風資材の損傷を防止する。

#### 【事後対策】

内容	チェック欄	備考
雪を取り除いて収穫する場合には、多方向から掘り出さないで一方向から順次掘り出す。		かぶった雪を崩して外気が入ると凍結しやすい。
凍害を最小限にするため、できる限り除雪および融雪の促進に努める。ただし、生育期のキャベツ、ハクサイ、ダイコン、ニンジン等では、外気よりも雪下内部の温度が高い場合があり、保温冷蔵状態になり凍害を受けることが少ない。		カリフラワー、ブロッコリー等立性のものは、雪の重量で茎葉が折損するので掘り出す方がよい場合がある。
積極的に、排水に努める。		
融雪後は、地上部病害の早期防除を行う。		
収穫期前で生育期にある作物は、融雪後に液肥の葉面散布を行う。		地温低下により、根の機能が低下しているため。

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。